

社会領域



社会科領域の方針とゼミナール

社会科領域の授業では、社会科の内容に関する講義だけでなく、文献資料の読解や現地での調査（フィールドワーク）を織り交ぜながら進めていきます。

社会領域には、日本史・西洋史・地理学・哲学・法学・社会学・社会科教育学の8名の教員が所属しています。学生は3年生後期から上記の専攻別のゼミに所属して、自ら研究テーマを決めて、就職活動や教員採用試験と並行して卒業研究に励みます。

主な年間行事 ※日程は多少の前後があります。

- 5月 卒論構想発表会（4年生）
- 6月 公立学校実習（4年生の希望者）
- 8月 オープンキャンパス（3年生中心）
- 9月 主免許教育実習（3年生）副免許教育実習（4年生の希望者）
- 10月 未来からの留学生（2年生）
- 11月 中間発表会（4年生）
- 1月 鶴尾小学校とICTを活用して交流しよう（2年生中心）
- 2月 卒論発表会（4年生）

※他にも合宿や日帰り県内巡検が入ることもあります。

四国八十八箇所札所寺院見学授業：：現在、四国八十八箇所札所寺院の多くは、四国遍路の世界遺産登録を目指し、文化財調査を継続的に行っています。この見学授業では、社会領域2年生がその最新の調査成果を学び、大学生の目で成果を捉え直し、わかりやすく地元小学生に現地で見学授業を行っています。2021年度は、根香寺をフィールドに、下笠居小学校の生徒を対象として行いました。

地域教材開発：：2・3年生がテーマに沿って、香川県内を調査して、地域の教材開発を行っています。その後、授業案を作成して指導案集として製本しています。



主な就職先

小・中学校教員・民間企業・地方公務員などに就職しています。また、教職大学院や創発科学研究科の大学院への進学の間も拓かれています。

